

星河蒼天

～輝き合い、高め合い、未来の光をつかみとる～

令和6年11月22日
小坂井中学校 3年
学年通信 第11号

「感動」という特別な感情を刻む～学年の証～

11月1日（金）に坂中祭・合唱コンクールが行われました。体育大会からの熱量が下がることなく、最後の合唱コンクールを最高のものに、そして聴いている人に自分たちの「伝えたいメッセージ」が、心の奥底まで届くように練習を重ねて、この日を迎えたのではないのでしょうか。この日を迎えるまでの道のりは、すべてが学級ドラマだったように思います。誰もが自分のクラスの合唱曲に真剣に向き合い続けていました。曲想を音楽符号と重ね合わせながら、どんな思いを表現するのか、またどのようなメッセージを聴衆に感じてもらいたいのか考えることを通して、歌声には「深み」と「心」が感じ取れるようになりました。

迎えた当日、ステージへと上がる時の凛とした表情からは、学級の仲間と歌い上げることへの「自信」と「期待」を感じました。体育館に響いたクラスの歌声を聴いていると、その学級らしさが表れていました。「Cantare～歌よ大地に響け～」手紙～拝啓 十五の君へ～」虹」「結・ゆい-」「はじまり」、それぞれの曲は、その学級だからこそ歌い上げられる合唱曲となり、その学級だからこそ表現できたメッセージがつまっていました。それは、確かに聴き手の心に届き、「感動」という特別な感情を味わわせてもらいました。この特別な感情こそ、この学年が刻んだ「証」のように思います。

優秀賞5組



最優秀賞1組



優良賞3組



モンゴル派遣報告



キュパティノ派遣報告

午後の全力FSPでは、個性あふれるパフォーマンスを披露して、会場を沸かしました。お笑い、ダンス、歌などをはじめ、クラスで制作した映像もあり、最後の坂中祭を心から楽しんでいる様子が見られました。特別な合唱コンクール、特別な坂中祭を過ごし、次は自分の進路に向けてです。これまで培った仲間との絆で、未来の光をつかみとるためにみんなでがんばっていきましょう。合い言葉は「受験は団体戦！」です！

